

貯金デ入リマシタ金其ノ他國庫ノ金ノ餘裕ノアリマス場合ハ、勿論正貨調節ノ方ニ出來マスダケ利用致シタイト考ヘテ居リマス、又御話ノゴザイマシタ通り、郵便貯金等モ獎勵ノ方法ヲ執テ居リマス、唯、金利ニ付テノ御話モゴザイマシタガ、是ハ一般預金等ノ關係モゴザイマス、今日ノ所政府ハ郵便貯金ノ利子ヲ上ゲルト云フ考ハ持テ居リマセズ、其他ノ方法ニ依テ、郵便貯金ノ獎勵ノ方法ヲ致シテ居リマス、先刻申上ゲマシタ通り、郵便貯金ナドハ、正貨ニ運用サレテ居ルモノガ二億以上ニ上テ居リマス、其等ノ方法ヲ併セ行ヒマシタ上、尙ホ是ト相伴ヒマシテ、正貨處分ノ一ノ方法トシテ、臨時國庫證券ノ御協賛ヲ仰イデ置キタイト考ヘテ居リマス、先日モ申上ゲマシタガ、正確ノ勘定ハ的確ノ事ハ申上ゲラレマセヌガ、貿易關係ニ依リマスモノ或ハ貿易外ノモノ、彼此併セテ四億乃至五億ノ受取超過ガアラウト云フ見込ヲ持テ居リマス、其金ヲ消化致シマスニハ、外債償還モゴザイマスシ、外債ノ利子拂モアリマス、其他政府ノ支拂等ニ多少ハアリマスモノモアリマス、又有價證券デ外國カラ輸入サレルモノモ相當ニアラウト思ヒマス、又支那方面ニ、民間市場ノ關係カラ借款等モ致スコトハ年々少クナインデアリマス、是等ノモノヲ差引キマス、矢張一億五千乃至二億位キハ、臨時國庫證券ニ依テ決濟致ス必要ガアラウト大體考ヘテ居リマス、唯今御質疑ノアルヤウナ點ハ、總テ出來得ルダケ利用シテ、相共ニ運用シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○高木正年君 私ノ申シマシタル金ノ働ノ上ニ付テハ、今理財局長ノ御話デハ、政府デモ相當注意セラレテ居ルヤウニ思ヒマスガ、唯、私共臨時國庫證券ニ成ルベク依ラズシテ、他ノ方法デシタ方ガ宜イ、通貨ノ膨脹ヲ防グト云フ上ニ、通貨ヲ抑制シテ、現在以上ノ通貨ヲ抑制スル此方ニハ、其方ガ宜クハナイカト思フ私共一番希望トシテハ、郵便貯金利子ノ引上ゲアルガ、是ニ付テハ獎勵ニ依テ郵便貯金ヲ増加シテ行クト云フノデアルガ、成程郵便貯金モ殖エテ居ルニ相違ナイ、併ナガラ若シ之ガ今日ノヤウニ増シテ來マズレバ、臨時國庫證券ヲ銀行家ニダケ押付ケルト云フ事ハ、語弊ガアルカモ知レマセヌガ、持タセルヨリ容易デアル、此方ハ通貨ヲ膨脹サセルコトニナル、要スルニ郵便貯金ハ貯金デナク、成ベク是ハ自分ガ利用スルガ宜イ、所ガ郵便ノ利息ヲ上ゲルト云フ事ニ付テハ、大藏省ハ努メテ御進ニナル傾向ガアル、ソレナラバ郵便貯金利子ヲ上ゲヌナラバ、利廻ニ於テ國ガ考慮シナケレバナラス、國ガ支出ノ上ニ於テ考慮シナケレバナラスト云フ事ヲ御考ニナッテ居ルト云フナラバ、臨時國庫證券ハドレダケ出ス積リデアルカト云フト、ソレハ六歩デナケレバ今日ハ募ラヌ、ソレカラ郵便貯金ハ五歩五

厘トカ、五分六厘御出シニナッテ、六歩マデハ行キマセヌデモ、郵便貯金ハ容易ニ集メ得ラレト思ヒマス、或ハ經濟界ガ多少打撃ヲ受ケルカモ知レヌガ、今ノ狀況デハ、ドウシテモ物價ノ調節上幾分制限スルコトハ必要デアル、物價ノ騰貴ト云フ事ニナルト、寧ロ今日世界ニ對シ日本ガ工業國トシテ立ツ上ニ、日本ト世界トドウ云フ風ニ考ヘルカト云フト、宜シク生産費ヲ削ルト云フコトガ一番必要デアル、物價ガ騰貴シテ國民生活ガ高マシテ來レバ、或ハ生産費ハ増加スル、隨テ資金ニ對シテ考慮スベキ事ガ當然起ル、此臨時國庫證券ヲ發行シテ、爲替ノ關係ヲ滑カニスルト云フコトハ、一面通貨膨脹ノ手助ヲスル傾向ニナリマスカラ、其前ニ成ルヘク貯金ノヤウナモノニ依テ吸收スル勸業銀行證券ナドモ宜イガ、政府ガ郵便貯金ノ利息ヲ上ゲルト云フコトハ、唯一ノ手段ニシテ少シモ弊害ガ無い、之ニ依テ吸收シテ爲替資金ヲ御調達ニナル、海外ニ運用スルト云フコトニシマス、一面弊害ガ無クシテ萬利益デアルト思フ、併ナガラ郵便貯金利息ヲ上ゲルト云フ事ハ、幾分躊躇サレテ居ルヤウニ見エ、ドウシテモ今ノ狀態政府ハ郵便貯金ヲ上ゲルト云フコトハ、出來ナイト御考デアリマス、其點ヲ伺ヒサヘスレバ、私ノ質問ハ終ルノデアリマス

○政府委員(森俊六郎君) 郵便貯金ノ獎勵ノ方法ト致シマシテハ、利子引上ト云フ事モ確ニ一ノ方法ト考ヘマス、其他零碎ノ金ヲ餘計ニ集メマスコトヲ獎勵致シマスニ付テハ、貯金ノ必要ナル所以ヲ總テノ公衆ニ能ク理解ノ出來ルヤウニ致シマス、種々獎勵ノ方法ハアルト考ヘマス、御承知ゴザイマス通り、銀行ノ預金ノ爭奪ト云フ事ノ勢ガ一二年來大分盛シデアリマス、實ハ銀行預金ノ利子ヲ段々競上ゲルト云フヤウナ大勢デアリマシタ、是ハ銀行ノ經營上カラ申シマシテモ、甚ダ心配ナ事デアリマス、又全體ノ金融上ノ健全ヲ保チマス上カラ申シマシテモ、銀行ガ利子ヲ競爭的ニ引上ゲルト云フコトハ、非常ニ戒メナケレバナラス事デアリマス、幸ニ昨年暮銀行者ノ間ニ預金利子協定ガ出來上リマシテ、大都市ニ於キマシテハ、ソレト具體的ノ方法ヲ講ジテ、御互ニ利子ノ競上ヲ抑制シヤウデハナイカト云フ事ノ申合ガ出來マシテ、今日ソレガ實行ニナッテ居リマス、郵便貯金ヲ引上ゲマスコトモ、斯様ナル大勢ニ於キマシテ、尙ホ政府ニ於キマシテハ、慎重ニ注意致サナケレバナラヌ、徒ラ預金ノ利子ノ引上ト云フヤウナ事ニ對シマシテ、政府側ニ於テモ、之ニ多少ナリト影響ヲ及ボスト云フコトデアリマス、慎重ニ政府トシテハ研究ヲ要スルコト、考ヘマス、今日ニ於キマシテハ、直チニ利子ノ引上ヲ實行シヤウト云フ考ハ持テ居リマセヌ、是ハ一般ノ金融上カラ考ヘマシテモ、尙ホ十分ナル考慮ヲ致サナケレバナラスモノト

考ヘテ居ル次第デアリマス

○高木正年君 郵便貯金ハ先程申ス通り五分以下ニナッテ居リマス、是ハ六分以上ニ引上ゲヨトハ申サヌケレドモ、之ヲ五分五厘ニ引上ゲタ所ガ、銀行ノ預金ニ鈎合ガ取レテ居リマス、是ハ銀行ノ預金ト全ク性質ガ違テ居リマス、貯金銀行ノ方ハ性質ガ同ジデアリマス、是トテモ利ノ鞘ガ大變違フノデアリマス、強テ元ノ通りニ置カヌデ五分五厘ニ引上ゲマシテモ、商業ノ出入ノ激シイ金ハ、銀行ヘシカ持ッテ行カヌ、唯、貯金銀行トノ關係デアリマスガ、併シレバ、貯金銀行ノ利息ハ郵便貯金ノ利息ハ、假令五分五厘ニシテモ大分ノ差違ガアリマス、決シテ政府ガ憂フル所ハナイ徒ラ二國ノ大體ノ經濟政策ヲ誤ルコトハ宜クナイカラ、念ノ爲メニ此事ヲ申シテ置キマス、私ハ此以上質問致シマセヌ

○津末良介君 他ニ質問者ガゴザイマスレバ私ハ差控ヘマスガ、若シ御差支ガナイナラバ、此際政府當局ノ意見ヲ確メタウゴザイマス、直接ニ此臨時國庫證券ノ改正案ト聯絡ノアル譯デアリマセヌガ、間接ニ皆ナ關係ヲ持テ居ル問題デアリマス、ソレハ此世界ノ金ノ產額ト云フモノハ、非常ニ縮少シテ居ル傾向ガアリマス、今私ハ統計ヲ持ッテ居リマセヌガ、之ニ伴ッテ、日本ノ金ノ產額モ非常ニ減ッテ居ルノデアリマス、是ハ大藏當局ノ統計ヲ取ツモノガアルナラバ、御用ヲ戴キタイト思フデ居リマス、此金ノ產額ノ減ルト云フコトハ、世界ノ物價ハ此大戦ノ結果非常ニ騰貴シテ來タ、即チ世界ノ物價ノ騰貴ト云フコトハ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、金ノ價ガ減タト云フコトニ歸著スルト思ヒマス、一匁五圓ト云フコトヲ倫敦決メタ其當時今日トニ於キマシテ、非常ニ時代ガ變テ居ルニ拘ラズ、矢張今日ト雖モ、一匁五圓ト云フ法律規則ニ依ッテ價ガ決メラレテ居リマス、此關係ヨリ致シマシテ、實際ノ市場ニ於キマシテハ、今金ハ一匁六圓ニモ、或ハ六圓五十錢ニモナッテ居リマス所ガアリマス、是ハ金貨ヲ鑄造スト云フコトハ出來ナイ、法律規則ヲ定メタ爲メニ、サウ云フ結果ヲ生ジタト思ヒマス、新聞見マシタガ、豫算委員會デ有森君ガ、此問題ニ似寄タ事ヲ質問シテ、大藏大臣トノ間ニ質問應答ヲシテ居リマス、金ノ準備ヲ爲スノ必要ヲ今日ハ認メテ居ナイカラ、今放任シテ居ルト云フヤウナ御答辯ノヤウニ伺ヒマシタガ、果シテサウ云フ譯デアアルカドウカ、若シサウ云フ譯デアアルトスレバ、私ハ此財政經濟ニ由タシキ陷缺ヲ生ジハシナイカト云フコトヲ竊ニ慮レテ居リマス、此點ニ付キマシテ、政府當局ノ御意見ヲ今一應確メテ置キタイト思ヒマス、本問題トハ密接ナル關係ヲ有テ居リマセヌケレドモ、間接ニ關係ヲ有テ居リ

マスカラシテ何テ置ク次第アリマス

○政府委員(森俊六郎君) 金ノ産額ノ減シテ居リマスコトハ、世界共通ノ事實ノヤウニ考ヘマス、我國ニ於キマシテモ、臺灣、朝鮮、其他内地ヲ綜合シタル上ニ於キマシテ、昨年アタリカラ、段々産額ガ減少スル傾向ヲ持テ居リマスルコトハ事實デアリマス、此點ニ付キマシテ、何等ノ考慮モ拂テ居ラナイカト云ヘバ、決シテサウデアリマセヌ、先日豫算總會等ニ於テ、大藏大臣ノ説明モアツタヤウニ存ジマスガ、將來正貨ノ國際ノ受拂ニ付キマシテハ、果シテドウ云フコトニナルカト云フコトハ、今日見据ガ付キマセヌノデアリマス、英吉利アフリカデモ、成ベク早く正貨ノ受拂ヲ自由ニシタイト云フ議論モアリマスルノデアリマス、又亞米利加アフリカニモ、左様ナル議論ヲシテ居ル人モアルノデアリマス、併シシレガ何時ニナリマシテ實行ガ出來マスカト云フコトモ、是モ見据ガ付キマセヌ、其外國際間ノ貸借關係ニ於テハ、何等カ一ツノ中央機關ノ機關ヲ設ケテ、決濟ノ途ヲ開カウデハナイカト云フ議論ガアリマス、何時マデ正貨ノ輸出ニ付テ、各國ガ今日マデノ如ク、非常ナル嚴格ナル禁制ヲ執ッテ居ラウト云フコトガ、今日ノ所見据ガ付キマセヌ、其等ノ大體ノ見込ノ決リマシタ所デ攻究ヲ致シマシテモ、サウ晚イ問題デナイト考ヘマス、研究ハ致シテ居リマススケレドモ、マダ具體的ニ斯ウ云フ方法ヲ以テ正貨ノ生産ヲ増スヤウニシタイトカ、或ハ消費ヲ減ズルヤウニシタイトカ云フコトニ付キマシテ、具體案ヲ持チマスルマデニ研究ガ進シテ居リマセヌノデアリマス、ト申スノハ一方ニ於テハ、正貨受拂ニ付テ世界ノ趨勢ガドウ云フコトニ相成リマスルカ、近ク之ガ解禁デモセラル、ヤウデアリマスレバサウエラク心配スル問題デナイカト考ヘマス、大體ノ成行ヲモウ少シ見マシタ上デ、攻究ヲ致シテモ宜カラウト云フ考ヲ以テ、今日ハマダ具體案ヲ作ルマデニ至リマセヌ

○津末良介君 サウ致シマスレバ、大藏大臣ガ豫算委員會ニ於テ言明サレタ通りニ、日本ノ金ノ產出高ニ對シテ、政府ハ之ヲ正貨準備ノ中ニ取入レル方針ヲ、今日ハ執ッテ居ナイト云フコトヲ言ハレタヤウニ思ヒマスガ、矢張政府委員ノ説明モ、サウ云フ事ニ歸スルノデアリマス

○政府委員(森俊六郎君) 從來此内地デ生産ヲ致シマシタル金ハ、成ベク日本銀行ニ之ヲ吸收シタイト云フ方針ヲ持ッテ居リマス、無利子貸付其他ノ方法ニ依ッテ、日本銀行ニ義務的ニ納付サセル方針ヲ執リ來テ居リマス、所ガ昨年以來民間ノ金ノ價格ガ多少騰シテ居リマス爲メニ、義務的ニナッテ居ルモノデモ、最小ノ義務高ニ制限シテ貰ヒタイ、或ハ成ベク自分等ノ方ノ自由處分ニシテ貰ヒタイ云フノデ、一三年來ノヤウニ日本銀行ニ集ラナイ現狀デアリマス、

實際ニ於テ多額ノ金ガ日本銀行ニ這入テ來ナイト云フ現狀ニナラウト思ヒマス、ソレモ方針ノ執方次第デ、ドウシテモ日本銀行ニ集メナケレバナラヌト云フナラバ、ソレニ相當シタ政策ヲ執ラナケレバナリマセヌガ、今日ハサウ云フ具體案ヲ定メテ居リマセヌ、暫ク成行ヲ見テ居ルト云フコトニナッテ居リマス

○委員長(粕谷義三君) 一寸伺ヒマスガ、先日御廻シニナツタ參考書デスガ、正貨ノ米國ト英國ニ委託サレタルモノニ對シテハ、何分カノ矢張利子ガ付イテ居リマスノデスカ

○政府委員(森俊六郎君) 大體亞米利加ニアリマスモノ、英吉利ニアリマスモノ、當座預金其他短期日ノ銀行預金ノヤウナ形ニナッテ居リマスモノハ、概シテ二分五厘位ノ利子ガ付イテ居リマス、最近ニ亞米利加デモ、短期ノ大藏省證券ノヤウナモノガ出マスヤウナコトニナッテ居リマス、其方ノ應募ガ既ニ二億圓許リ、ソレハ國庫全體ノ話デアリマスガ、應募致シテ居リマス、其方ハ四分五厘位ノ利廻ニナッテ居リマス

○柵瀬軍之佐君 今ノ御尋ノ續デスガ、預金ト寄託金ト兩方ニナッテ居リマスガ、此區分ノ性質ハドウ云フコトカラ起ッテ居リマス

○政府委員(森俊六郎君) 寄託金ト申シマスルノハ、英蘭銀行等ノ場合デアリマスレバ、單純ナル寄託金ニ付テハ利子ハ取ッテ居リマセヌ、國庫ノ支拂元トシテ必要ノアリマセヌヤウナ高ト云フモノヲ、各銀行ニ預入シテ居リマシテ、預金ニシテ居ルノガアリマス、其預金ノ部分ハ二分五厘乃至四分五厘位、成ベク有利ナル方法ヲ以テ預ケテ居リマス、大部分ハ今日ハ預金ノ形ニナッテ居リマス

○柵瀬軍之佐君 サウシマス、米貨寄託金ト云フモノモ同シ性質ヲ持ッテ居リマス

○政府委員(森俊六郎君) 米貨ノ方モ同ジ性質デスガ、唯、米國ニ於テハ、寄託金タル當座預金ニモ利子ヲ附ケルト云フコトニナッテ居リマス

○柵瀬軍之佐君 預金ト云フ方ハ、詰リ急ニ必要ノナイ定期的ノ性質ヲ持ッタモノデ、寄託金ト云フモノハ、何時デモ取レルト云フ性質ノモノデアアル、サウシテ其金額ハ大分大キイガ、其區分ハ——利子ノ付スルモノト、付セナイモノト云フモノ、分類ハドウナリマス

○政府委員(森俊六郎君) 國庫側ノ關係ニ於キマシテ、直チニ引出ス必要ノナイモノデアリマスレバ、成ベク預金ニ廻スコトニナッテ居リマス、英吉利ノ側デ英國銀行ニハ預ケテアルノハ、大抵寄託金デアリマス、其他各銀行ナリニ、正金銀行ヲ通シテ預金シテ居リマスノハ、金額ニ於テハ却テ多イト思ヒマス、ソレカラ亞米利加ニ於キマシテハ、今日デハ

全部寄託金ト云フ名前ニナッテ居リマス、サウシテ之ガ二分五厘位ニ運用サレテ居リマス、先刻申シマスヤウニ最近ニ於キマシテ、大藏省證券ニ二億圓許リ應ジマシタノデ、臨時國庫證券ノ收入金ノ勘定ニ於キマシテモ、大藏省證券ニナッテ居ルモノガ最近餘程出來テ居リマス、大體エライ嚴格ナ區別ハ無いデアリマススケレドモ、國庫金トシテ、銀行ニ預金ニシテ差支ナイモノハ預金ニ廻シ、又國庫ノ在金トシテ何時取出スカ分ラヌト云フモノハ寄託金トシテ運用シテ居ル斯ウ云フコトニナッテ居リマス

○委員長(粕谷義三君) ソレハ幾ラ位デスカ其金高ハ……

○柵瀬軍之佐君 今ノ數字ハ御分リ次第御話シテ願ッテ宜カラウト思ヒマスガ、今一ツ露國政府大藏證券、並ニ軍需品代金ニ對スル大藏證券、並ニ軍事公債其他ノ債權ヲ合計スルト、總テ三億ニ達スル、是ハ帝政轉覆後ニ於テ、露西亞ハ國債廢棄ヲ聲明シタコトモアル、其後無論露西亞ノ主權者トモ目スベキ者ハ、帝國政府モ認メテ居ラナカッタデアリマスカラ、其利札ナリ償還方法ナリハ、今以テ其儘ニナッテ居ルト信ジマス、併シ其後帝國政府ハ「オムスク」政府ヲ認メテ居ルノデアリマス、此國債ニ對シテノ了解ハ如何ヤウニ得テ居リマス、其事情ガ分リマスナラバ御話ヲ願ヒタイ

○政府委員(森俊六郎君) 此露國大藏省證券其他ノ債權デアリマスガ、期限ノ到達致シマスル毎ニ、露西亞ノ大使館ニ向ッテ期限ノ到達シタ事ニ付テノ通告ヲ致シテ居リマス、即チ催告ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、實際ニ於キマシテハ、是等ノ利子ハ收入ニナッテ居リマセヌコトハ御聞ノ通りデアリマス、「オムスク」政府ノ事ハ外務大臣モ或席ニ於テ答辯セラレタト思ヒマスガ、マダ列國ガ之ヲ承認シタト云フ形ニナッテ居リマセヌ、大體中心勢力ニナラウト云フコトニ見テ居リマスルダケデアリマシテ、マダ列國ノ承認サレタ國家ト云フコトニナッテ居リマセヌカラ、隨テ是等ノ問題ニ對シテ、「オムスク」政府ト交渉ヲ開イタト云フ事ハ無イト考ヘマス

○柵瀬軍之佐君 サウデアラウト思ヒマス、モウ一ツ政府ト政府トノ間ノ債權債務關係以外ニ民間ニ於テ供給シタ軍需品代金、是ハ矢張露西亞ノ國情御覽ノ通りデアリマスガ、未ダ支拂ヲ受ケズシテ頗ル困難ヲシテ居タ者モアルヤウデアリマスガ、其間ニ所謂日本帝國政府ハ立ッテ、詰マリ辨濟ノ方法カ何カ講ジタヤウニ承テ居リマスガ、サウ云フモノハ、矢張此六千六百萬圓ト云フモノ、中ニ入ッテ居リマス

○政府委員(森俊六郎君) 唯今御尋ノ民間デ供給致シマシタ軍需品代等ノ債權ノ取立ニ付テ救濟致シマシタ高

ガ、即ち此六千六百萬圓デアリマス、ソレハ先日御尋モゴザ
イマシタカラ要點デテ申上デテ置キマスガ、政府ニ於キマ
シテ、露國ノ大藏省證券デアリマスガ、或ハ支拂證明書
ヲ買取ルニ付キマシテハ、其債權ガ確實ニ成立シタモノデ
アレ、何等其外ニ、負擔ノ附カナイモノデアルト云フコトヲ
當業者ヨリ證明書ヲ差出サセ、債權讓渡ニ對スル露國大
使ノ證明書ヲ附ケルコトニ致シテ居リマス、又露國政府ト
ノ契約書及債權ノ取立ノ爲メニ白紙委任狀ヲ附ケル、又
露國大使或ハ大使館附武官等ノ證明書、又ハ之ニ代ルベ
キ物ヲ附ケサセテ居リマス、其他各自ノ故意、又ハ過失ニ
依ッテ、權利ノ故障ヲ生ジタ場合ニハ、政府ニ損害ノ賠償ヲ
致スト云フコトヲ、當業者ニ保證ヲ附ケサセテ居リマス、其
他政府ノ債權ヲ保證シマスニ必要ナル手段ハ、出來ルダ
ケ執テ居リマス、又留ノ相場ナドニ付テモ契約當時ノ平均
相場ト、大正七年六月ノ平均相場トヲ折半致シタモノヲ
以テ、圓ニ換算スルト云フコトニ致シテ居リマス、露國政府
ノ證書ノ引換ヘニ臨時國庫證券ヲ發行致スコトニナッテ居
リマスガ、是ハ五箇年期限ト致シマス、總テ甲種登錄ノ
形式ヲ執ルコトニナッテ居リマス、尙ホ希望ノ者ニ付テハ正
金銀行ニ之ヲ買取ラシメマシテ、正金銀行カラ現金ヲ貰フ
ト云フ途モ開イテ居リマス、是ハ金利ヲ一分トシテ、一箇年
期限トシテ切換ヘルコトニナッテ居ルト思ヒマス、大體斯様
ナ手段ニ依ッテ買取リマシタモノガ、六千六百萬圓ト云フコ
トニナル次第デアリマス

○柵瀬軍之佐君 モウ一ツ念ノ爲メニ伺ヒマスガ、民間ニ
持テ居ル債權ハ、其債權額其儘ニ對シテ便宜ヲ與ヘラレ
マシタカ、或ハ其ノ内拂ノ性質デアリマスガ、間ク所ニ依ル
ト百圓ノモノヲ、六掛カ七掛カ決濟シテヤット云フヤウナ
事モ承ツコトガアリマスガ、左様ナ事實ハアリマセヌカ
○政府委員(森俊六郎君) 全ク是ハ額面ニ依ッテ居ルノ
デアリマス、併ナガラ先刻申上デマシタ通り留ノ相場ヲ決メ
マスニ一ツノ標準ヲ取リ、民間ノ者ガ契約致シマシタ其當
時ノ相場ト、昨年此方針ヲ決メマシタ、七年六月ノ平均相
場ト云フモノヲ取リマシテ、ソレヲ折半致シタモノデ救濟ヲ
致シテ居リマス、事實ハ斯様ナ留ノ價格ニ付テ標準ガ決マ
リマシタ結果、多少割引ヲシテ居ルヤウナ結果トナッテ居リ
マス

○澤來太郎君 私ハ大藏省ノ資金運用ノ事ニ關シテ一
ツ伺ッテ置キタイ事ガアリマスガ、ソレハ始終此大藏省ノ慣
例トシテ資金運用ニ關スル最近或ハ現在ノ内容ニ對シテ
ハ半ハ秘密ヲ保タレテ來テ居ラレタヤウデアリマスガ、私等
ノ考ヘマスニモ矢張ハ對外關係上、或程度ニ於テ秘密ニ
スベキモノデアラウトハ思ヒマスガ、從來ノ大藏省ノ御方針

ニ依リマス、其ノ程度ヲ越エテ、秘密ニスベカラサル部分
マデモ之ヲ秘密ノ範圍ニ包含サレテ居タヤウニ見受ケラレ
ルノデアリマス、ソレデ今尙ホ現政府ニ於カレテモ矢張此ノ
資金運用ノ内容ニ關シテハ唯今申上デタヤウナ、半ハ秘密
ノ御方針ヲ御執リニナッテ居リマセウカ、如何デアリマセウ
カ、若シ秘密ヲ保タレテ居ルトシマスレバ、其範圍ハドノ範
圍マデ秘密ヲ保タレテ居リマスガ、之ヲ伺ッテ置キマス
○政府委員(森俊六郎君) 決シテ必要ノ無イモノヲ秘密
ニ致シタト云フヤウナ事ハ無イノデゴザイマシテ、預金部ノ
運用ナゾニ付テモ、毎月其内容ヲ官報等ニ公表致シテ居
リマス、又今日豫算ノ參考書等ヲ御覽下サレバ預金部ノ
運用ニ付テモ、明細ニ其内容ガ分ッテ居ルノデアリマシテ、決
シテ秘密ニ致スト云フ事ハ無イノデアリマスガ、唯數字ノ事
デアリマスガ、何分ニモ直チニ御答ノ出來ナイヤウナ材料
ノ不揃其他ノ、直チニ明確ニ御答ノ出來ヌ場合モアリマスガ、
決シテ之ヲ秘密ニスルト云フヤウナ考ハ持ッテ居リマセヌ

○澤來太郎君 唯今承リマスレバ決シテ寸毫ノ秘密モ無
イト云フ御答デアリマスガ、是ハ議員ノ私ノ方カラ申シマス
ト變デアリマスアレドモ、私ハ對外關係上或ル程度ニ於テ
ハ秘密ヲ保タレテモ然ルベシト信ジテ居ルノデアリマス、然ル
ニソレモ秘密ガ無イト言フ以上ハ、ソレニ増シタ事ハナカラ
ウト思ヒマスガ、現ニ私ハ從來之ヲ半ハ秘密ニサレテアット
云フコトヲ、私ハ爰ニ於テ立證致シマス、嘗テ私ハ日本銀
行並ニ大藏省ニ對シテ、資金運用ノ内容ヲ明ニシテ寧ロ
教ヘテ貰ヒタイト云フコトヲ要求シタ事ガアル、其時ニ於テ
ソレヲ日本銀行ニ質シテ見マス、ソレハ私共ノ方カラハ大藏
省ノ方ヘ詳細ニ報告シテゴザイマスカラ、寧ロ大藏省ニ對シ
テ御質シニナッテ方ガ分ルデアラウト思フ、斯ウ云フ事デア
ル、ソレカラ大藏省ノ當局ニ對シテソレヲ質シマス、ソレハ
日本銀行ノ方ニ御質シ下サル方ガ明ニナルデアラウト云フ
ノデ、五ニ責任ヲ迴避シテ如何ニモ甚大ナル秘密ヲ藏セラ
レテ居ルカノ如キ感ヲ私ハ起シタ事ガアル、現ニ大藏省内ニ
於テ此ノ預金運用ノ經過ヲ明カニシテ調ベタモノガアルカ
ト云ウテ質シテ見ルト、ソレハ長イ間デアルカラ分ラヌ、所謂
受入高拂出高殘額ト云フヤウナモノヲ月表若クハ年表デ
以テ明カニシテ置カレルト思フ所ガ、其等ニ關シテハ一向意
ニ介セザルヤウナ狀態デアッタ、其前ニ私ハソレ以上ハ秘密
ノ事項トシテ御扱ニナッテ居ルカト今尙ホ思ウテ居ル、矢張
現在モ其當時ノヤウナ狀態ニナッテ居リマスガ

○政府委員(森俊六郎君) 先刻モ申上デマス通り必要
以上ニ秘密ニ致ス事ハ無イノデアリマス、唯、銀行ノ取扱等
ニ屬シマスモノデ、銀行ノ營業上ノ内容ニ關スル事ハ何モ

彼モ銀行ノ考モ聽カズニ公表スルコトハ出來ヌ事柄ガ多イ
ノデアリマス、旁、其等ノ事デ、或ハ御話ノゴザイマスヤウ
ナ事ガ、或ハ事實上アツタカモ存ジマセヌガ、銀行ノ營業ノ
秘密ニ屬シマス事ハハ甚ダ發表仕惡イ場合モアルノデア
リマス、其等ノ事ヲ除イテ大體市場ニ惡影響ヲ來ス虞ノア
リマセヌ事デアリマスレバ、成ル可ク出來ルダケ之ヲ明カニ
シテ、御承知ヲ願フコトニシテ居リマス、故ラニ之ヲ秘密ニ
致スコトハ無イ事ト信ジマス

○澤來太郎君 重ネテノ御答辯デ私ハ稍、安心ヲ致シマ
シタガ、願クバ今後ニ於キマシテハ、特ニ貴衆兩院議員ニ對
シテハ、例ヘバ或ル程度ニ於テ多少ノ秘密ガアルトシテモ、
其秘密マデ御打明ケニナッテ、吾ミガ調査ニ便スルヤウニシ
テ戴キタイト云フコトヲ希望シテ置キマス、此希望ダケデ此
質問ヲ止メテ置キマス

○柵瀬軍之佐君 國庫證券法ノ場合デアリマスカラ伺ヒ
マスガ、今回ノ改正案ニ依リマス第一條中ニ「便ニスル
爲」ヲ「便ニシ其他聯合國ノ財政ヲ援助スル爲」ニ改ムル
ウ云フ御發案デアル、私ハ此條文ヲ見マシテモ奇怪ニ思ヒ
マスノデアリマスガ、ト云フノハ、是ハ此法文ガ議會ヲ通過シ
テ成案ニナル時分ニハ聯合國ナル名稱ハ殆ド歴史的ノ過
去ニ屬スルト思フ、申スマデモナク唯今講和會議ガ開カレ
テ聽テ斯様ナ敵國トカ聯合國トカ云フ名稱ハ、全然空ニ歸
スルモノデアラウ、此際ニ故ラニ古イ歴史ヲ此所ニ引張り出
シテ來テ、聯合國ノ財政ヲ援助スルト云フ法文ノ書方ハ甚
ダ穩當デナイ、國際的ニ穩當デナイ斯ウ云フ考デアリマス
ガ、ソレハ如何ナル必要ガアルノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒ
タイ

○政府委員(森俊六郎君) 御尤ナ御不審デアリマスガ、
何日ニナリマスレバ、聯合國ト云フモノガ無クナルカト云フ
事ニ付テハ全ク今日ニ於テ未定ノ問題デアリマス、現行法
ノ第一條ニ於キマシテハ、既ニ聯合國ニ對スル輸出軍需品
ノ代金ノ決濟ヲ便利ニスルトナッテ居リマス、現行文ノ代金
ノ決濟ダケデハ、差支ヘル場合ガアラウカラ、聯合國ノ財政
ヲ援助スルト云フコトヲ附加ヘタイト云フコトヲ申上デテア
ル、聯合國ト云フ言葉ハ、既ニ現行法ニアリマスノデ、又此
法律ニ依ッテ既ニ臨時國庫證券ノ出テ居ルモノモ多々アル
譯デアリマス、旁、當分ノ間ハ聯合國ト云フ言葉ヲ入レテ
置キマス方ガ、實際ニ於テ都合好カラウト考ヘマス、現ニ
現行法ニモアル言葉デアリマス、之ヲ存置シテ置クヤウニ致
シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス

○柵瀬軍之佐君 是ハ唯今ノ御説明デアリマスケレドモ、
私ハ此場合ニ於テ甚ダ不當ナル言葉デアル、斯様ニ感ジ
マスノデ、願クバ適當ナル他ノ意味ニ之ヲ修正スルコトニ御

○柵瀬軍之佐君 是ハ唯今ノ御説明デアリマスケレドモ、
私ハ此場合ニ於テ甚ダ不當ナル言葉デアル、斯様ニ感ジ
マスノデ、願クバ適當ナル他ノ意味ニ之ヲ修正スルコトニ御

異議有ルカ無イカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(森俊六郎君) 既ニ軍需品代金ノ決済ニ付テ聯合國ト云フ言葉ガ使テ居リマスシ、又仕事ノ實行中ニ屬シテ居リマス事モゴザイマスシ、假ニ平和克復ノ結果聯合國ト云フ關係ガ無クナルトシテモ、此法律ガ施行セラル、時ニハ確ニ聯合國ト云フ關係ニ在ルト考ヘマス、此法律ニ依テ發行セラレテ居ル國庫證券ノ處分ガキマスマデハ、矢張現行法ガ其儘ニ存續スル方ガ適當ナ方法カト考ヘマス、是ハ原案ノ儘御協賛ヲ仰ギタイ思ヒマス

○西村丹治郎君 政府委員ノ先刻來ノ御話ニ依テ一ノ私ハ疑問ガ起タ故ニ伺ヒマスガ、本年度ニ於ケル國際貸借即チ正貨受クル勘定ハ約四億乃至五億ト云フ御話ガアリマシタ、是ハ本會ニモ委員會ニモ御話ガゴザイマシタガ、其等ノ御話ニ依ルト外國ニ對スル所謂外債ノ利拂、或ハ元金ノ償還ト云フヤウナモノ及其他ノモノカアルカラ、本年度ニ於ケル取入ハ一億五十万乃至二億万位アラウト云フ話ガアツタノデアリマスガ、サウスルト取勘定ガ四億乃至五億ニナルト云フ意味ハ、サウスルトノ除外シタモノ、取勘定ハ二億位ニナルト云フデアリマスガ其點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(森俊六郎君) 取勘定ヲ計算致シマス場合ハ大體貿易上輸出入ノ「バランス」ノ上カラ貿易上ノ取勘定ニナッテ居リマスモノト、貿易外ノモノ即チ保險金トカ、或ハ旅行者ノ使ヒマス金トカ、或ハ民間ノ市場ニ於テ向ウニ放資シテ居ルモノ、利益等、大體民間ニ於ケル取勘定ト二ツニ分レマス、ソレヲ合計シタモノガ、四億乃至五億ニ上ル、政府側ノ公債ノ利拂、外債ノ償還或ハ今後支那其他ノ方面ニ放資スルト云フコトハ、正貨ノ處分ノ方ニ見テ居リマス、五億ノ内如何ニ之ヲ消化スルカト云フコトニ見テ居リマス、其等ノモノヲ差引イテ計算シ、國庫證券ヲ利用シテ決済ヲ受ケナケレバナラヌモノガ、一億五千万乃至二億万位ニナルト云フコトニ御承知ヲ願ッタイ宜カラウト思ヒマス

○西村丹治郎君 サウシマス、詰リ政府以外ノ取勘定ガ四億乃至五億、其中約二億内外ノ政府ノ拂勘定ヲ差引スレバ一億ニナル、斯ウ云フ御計算ニナリマスカ

○政府委員(森俊六郎君) 政府ノ拂勘定ガデナシ、民間ニ於ケル、例ヘバ對支借款ノヤウナモノデアリマス、斯ウ云フヤウナモノモ將來ニ互ルモノデアリマスカラ、正貨ノ處分ノ方法、一ツニ舉ゲテアル、大體内容ハ船舶ノ運賃デアリマストカ、保險料ノ收入デアリマストカ、外國船舶、若クハ船會社ナドノ内地ニ消費致シマシタ高、外國人ノ内地ニ消費致シマシタモノ、海外事業ノ利益デアリマストカ、海外放資

ノ利益デアリマストカ、外國ノ保險會社カラ受取リマス保險金、斯様ナモノガ取勘定ニナッテ参リマス、拂ノ方ノ勘定ニ立テ、アリマスノハ、内地ノ船舶、若クハ船會社ナドガ、海外消費致シマシタ高、本邦人ガ海外消費致シマシタ高、外國人ガ内地事業ヲ致シマシタ、其内地ノ事業カラ上リマシタ利益、又外國人ガ内地ニ資本ヲ卸シマシタ利益、本邦ノ保險會社ガ外國ニ拂ヒマス保險金、本邦人ガ海外事業ヲ致シマシタ費用デアリマストカ、斯様ナモノガ拂勘定デアリマス、政府勘定ヲ除イテ、大體ノ民間ノ勘定、貿易外ニ受取リマス勘定ト思ヒマス、其差ガ四億乃至五億ト見テ、其中カラ政府對外債ノ利拂ヲ致シマストカ、元本ノ償還ヲ致シマストカ、或ハ支那ノ借款ニ應ジマストカ云フモノハ、消化サル、コトニナリマスガ、尙ホ臨時國庫證券ヲ發行シテ、政府ノ力ヲ以テ決済ヲシナケレバナラヌモノガ二億位ニナルデアラウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス

○西村丹治郎君 正貨ノ取勘定ガ幾ラニナルトカ云フコトノ問題ハ、詰リ公債ノ元金ノ幾分ノ償還デアルトカ、利拂デアルトカ、斯ウ云フコトノヤンヤン確定ノモノノ差引キ計算シテ、取勘定ガ幾ラニナルト仰シヤテ下サレバ、ハッキリシマス、投資ノ方ハ未確定ノモノデアリマスカラ、或ハ投資ガ出來ルカ知ラヌ、出來ナイカモ知ラヌ、サウスルトノハ別ノ問題トシテ、政府ノ確定ノ義務ニ屬スルモノハ、大體ノ正貨ノ取勘定ガ幾ラニナルト云フ間ニ對シテハ、差引計算シテ御答ニナルノガ、却テ分明シハセヌカト思ヒマス、サウスルト未確定ノモノハ差引イテ、後ノ受取勘定ガ幾ラニナルト云フコトヲ伺ッタイ、頗ル關係ガ分明ニナルデアラウト思ヒマス

○政府委員(森俊六郎君) ソレハ計算ノ立方デアリマスノデ、從來大藏省デ公表致シマシタ取勘定ノ計算ハ、先刻申上ゲタヤウニナッテ居リマス、其中確定ノモノニナリマス、外債ノ利子、假ニ償還ヲ入レマスレバ、外債ノ償還ガ八年度ニ於テ豫算上三千万圓取テデアリマス、利子拂ガ五千四百萬圓計リニナルト考ヘマス、ソレ等ノモノガ確定ノモノデアリマス、其外ニハ例ヘバ西伯利出兵ノ爲メニ正貨ヲ要シマスノモ政府ノ拂ニナリマス、ソレ位ノモノデアリマス、稍、確定シテ申上ゲマスモノハ——アトハ正貨ニ於テノ處分ノ方法ニナル譯デアリマス、ソレ等ヲ差引キマスレバ、國庫證券ニ依ルモノハ矢張一億五千万トカ、或ハ二億トカ云フ數字ニナリマス

○西村丹治郎君 貿易其他ノ關係カラ取勘定ニナルモノガ四億乃至五億、其中之ヲ内譯スルナラバ、貿易關係デ略、ドノ位ノモノヲ見積ッタルカ、貿易以外ノモノハ其中幾ラ見積ッタルカ、此事ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(森俊六郎君) 其事ハ先日モ御尋ガアリマシ

テ、御答ヲ致シマシタ、大正五年トカ、大正六年 大正七年マデノ所ハ、大體貿易ガ幾ラデ貿易外ガ幾ラト云フコトハ、多少ノ見込ヲ入レテ御報告ヲ致スコトガ出來ルダラウト思ヒマス、大正八年ニナリマス、全ク見込デアリマシタ、或物ハ三割減ラダラウ、二割増スダラウ、或ル價格ガコシナ風ニ變動スルダラウト云フ大體ノ見込ヲ立テ、居ルニ過ギナイ、之ヲ分類シテ、斯ク——仕事ガドウナルト云フコトヲ申上ゲルコトハ困難デアルト云フコトヲ申上ゲマシタ、七年度マデノ所ハ大體ノ數字ハ御報告ガ出來ルト思ヒマス

○西村丹治郎君 過去ノ事ハ御調ベニナレバハッキリスル、將來ノ事ハ既ニ四億五億モ見込デアリマスカラ、或ハ間違フカ知ラヌ、貿易ナラバドノ項目デ、ドレダケニナルト云フヤウナ細カイコトヲ云フノデアナイ、貿易關係デ幾ラ、貿易以外デ幾ラト云フ見當ガ付カケレバ、四億乃至五億ト云フコトガ出來ナイダラウト思ヒマス

○委員長(粕谷義三君) ソレハ大體以前御説明ガアツタヤウデアリマス

○西村丹治郎君 是ハ將來ノ事デアリマス、四億乃至五億ト云フ大ナル一ツノ結論ガ出テ居リマス、細カイ事ハ分リマスマイガ、貿易ト貿易外ノ關係ハドウナル、ソレ位ノコトハ御話ガ出來ルカト思ヒマス

○政府委員(森俊六郎君) 是ハ五年、六年、七年アタリノ實數ヲ御比較ナサイマシテ、大體ニ於テ皆様ノ御推定ヲ願フ方ガ、却テ安全ノ方法デアナイカト考ヘマス、洵ニ是ハ當ラスノガ、却テ原則ノヤウナモノデアリマスカラ、却テ過去數年間ノ實績ニ依テ、御判斷ヲ願フ方ガ宜カラウト思ヒマス

○西村丹治郎君 併シドウ云フモノデアリマスガ、既ニ四億乃至五億ト云フ取勘定ヲ仰シヤタ以上ハ、内容ノ大見當ダケハ御話ニナッテモ宜イト思ヒマス、ソレガ狂ダカラト云テ、ソレガ狂ヘバ四億乃至五億ト云フ此根柢モ崩レテ來ル、過去ノ實績ニ徴スレバドノ位ノ歩合ニ考ヘテ居ルト云フコトハ、内容モ過去ノ實績カラ御判斷ナサレバ當然政府トシテ推定ガ出來ルト思ヒマス、ソレガ出來ナケレバ四億乃至五億ト云フ結論ノ出來ル筈ノモノデナシ

○政府委員(森俊六郎君) 大體過去ノ實績カラ見マシデ、幾分カ例ヘバ船舶ノ收入ガ減ラデアラウカ、保險料ガドウナルデアアラウト云フ御推定ニ依リマシテ、御判斷ヲ願ッテ置キタイト思フノデアリマシテ、之ヲ別ケテ貿易ノガドウナルトカ、貿易外ノモノガドウナルトカ云フヤウナコトヲ申上ゲマストカハ、果シテ政府ノ見込トシテ發表スルコトハドウデアラウカト考ヘマスガ、過去ノ實績カラ皆様ニ於テ御判斷ヲ願フ方ガ一番適當デハナイカト考ヘマスノデ、大抵政府ノ認メテ居リマスル所ハ、四億乃至五億——是モ大體駁ナ所ヲ申

上ゲテ居ルノデアリマシテ、其邊ノ見當ヲ著ケテ國庫證券ノ提案ヲシテ居ルト云フ譯デアリマシテ、之ヲ的確ニ申上ゲルコトハ殆出難イノデアリマス、之ニ依テ御推定ヲ願フ方ガ却テ危クナイ數字ガ出ルデハナイカト思ヒマス

○西村丹治郎君 ドウシテモ財政運用ノ上カラ見テモ、殊ニ來年度ニ於テハ、殆六億以上ノ公債募集ノ計畫ニナッテ居ル、是ナドハ正貨ノ出入關係ニ重キヲ置イテ、其打算カラシテ、財政ノ運用ナリ、殊ニ公債募集ノ計畫ヲ立テ、居ルモノト思フガ、其點カラ既ニ本會ニ於キマシテモ、又委員會ニ於キマシテモ、度々四億乃至五億ト云フコトヲ大膽ニモ繰返サレテ居ルノデアリマスガ、其結論ガ出タ以上ハ、内容タケハ是非國民ヲシテ安心セシムル爲メニ、政府ハ斯ウ云フ考テ取勘定ガ斯ナルノデアルト云フコトハ、無論御遠慮ナサルヨリハ、ハッキリト略、見當ヲ仰シヤッテ置イタ方ガ、財界ニ安心ヲ與ヘル所以デハナイカト思フノデアリマス

○委員長(粕谷義三君) 一寸速記ヲ止メマス

○委員長(粕谷義三君) ソレデハ臺灣事業公債ノ方ノ質問ニ掛リマセウ

○榊瀨軍之佐君 臺灣事業公債法ノ改正ニ依ッテ、更ニ一千九百萬圓ノ追加募集ヲスルト云フコトノ御提案デアリマス、其使途ハ何デアルカト御尋致シタ所ガ、臺灣ノ西部ノ縱貫鐵道ノ中、中港大肚間ニ對スル鐵道ノ建設費デアリト云フ御答ヲ得タノデアリマス、前日申上ゲヤウト思ヒマシタガ、大分他ノ諸君ヨリモ御質問ガアリマシタカラ、差控ヘテ居リマシタガ、私ハ此場合ニ於テ御尋致シタ、臺灣總督府ハ現在アル臺北臺南間ノ鐵道ノ中、中港ヨリ分岐シテ大肚ニ達スル改良線——新線ヲ御計畫ニナリマシタガ、中港大肚間ノ現在線ハ如何ニ處理サレルカト云フコトニ付テ、御尋致シタノデアリマス、承ル所ニ依リマスルト、此新線敷設ノ計畫アル事ヲ漏レ聞イテ、中部臺灣方面ノ住民ハ殆下寢食ヲ忘レテ、此新線ノ建設ニ反對ヲ表シタ、思フニ臺灣領有後、在來ノ内地人及臺灣人、是ガ協力シテ而モ大架築ナル政治的運動ヲ試ミマシタ事ハ、此鐵道ノ新線敷設ニ對スル事柄ヲ以テ嚆矢ト致スコトデアラウト思ヒマス、昨年來私ノ手許ニモ臺中方面ヨリ屢々之ニ關シテ各方面ヨリ情報ガ達シ、併セテ微力ナガラ援助ヲ致シテ吳レト云フコトヲ申シテ參テ居ル者ガアリマス、此新線ハドウ云フ事カラ來テ居ルカト云フ事ヲ御尋シテ居ルノデアリマスガ、想フニ私ノ知ル限リニ於テハ、矢張中港臺中間ガ餘リニ勾配急ニシテ、輸送力十分ナラズ、隨テ現在及ビ將來ニ互ル臺灣ノ産業ノ發展ノ上ニ、大ナル輸送上ノ阻害ヲ來スト云フコトカラ起タコトデアラウト思ヒマスガ、併シ今回

御要求ニナリマシタヤウニ、多額ノ金ヲ以テシタナラバ、現在ノ線路ヲ更ニ改良シテ、中部方面、即チ臺中ヲ中心トシタノ方面ノ人間ノ希望ヲ達シテヤルト云フコトモ出來得ルコトデアアルマイカ、同時ニ中部臺中ハ漸ク發展ノ氣運ニ向テ參リマシテ、總督府モ銳意之ニ向テ都市政策ヲ行ヒ、此發達ニ非常ニ獎勵保護ヲ與ヘラレタ所デアリマス、是ガ若シモ今回計畫ノ如キ場合ニ立至リマシタナラバ、漸ク發展シ來タ所ノ臺中ト云フモノハ、無論衰微ノ運命ニ陥ルコトデアアラウト思ヒマシテ、臺中方面ノ内地人ハ非常ナ熱誠ヲ捧ゲ、總督府方面ニ對シテ極力大舉シテ運動ヲ致シタト云フコトハ、私ハ同情ヲシテ居ル一人デアリマス、是ハ既ニ此所ニ要求サレアル金額ヲ以テ新線ノ敷設スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、更ニ此變更ヲスルト云フコトハ隨分困難ナ事デアアラウト思ヒマスルガ、何カ其間ニ處シテ中部方面ノ此熱烈ナル希望ヲ容レル餘地カアルカ、無イカト云フコトニ對シテ、御尋ヲ致シテ見タイト思ヒマス、尙ホ之ニ付キマシテハ豫メ委員長ノ御承諾ヲ得テ置キタイノハドウカ、一々發言ノ御許シヲ得マセデ、一問一答ノ形デ進ミタイト思ヒマス之ヲ願フデ置キマス

○政府委員(下村宏君) 唯今榊瀨君ノ御質問ガアリマシタガ、實ハ斯ウ云フ機會ニ其大要ヲ說明シテ置ク事ハ私ノ方カラモ希望致シテ居、タ點デゴザイマス、第一ニ今回臺灣ノ南北部ノ間ニ海岸線ヲ設ケマシタノハ、榊瀨君ノ御話ノ通り新竹臺中ノ間ガ四分の一ノ勾配ヲ有シテ居リマス爲メニ、輸送力ガ三分の一ニ減ジテ居ルノデアリマス、ソレガ一ツソレカラモウ一ツハ臺灣ハ御承知ノ通り、季節ニ依ッテ貨物ノ數量ニ非常ニ變化ガアリマスルガ、又方向カラ言ヒマシテモ御承知ノ通り、貨物ハ北カラ南ヘ下ルノガ多イノデアリマス、南カラ北ヘ上ルト云フノハ少ナイノデアリマス、其少ナイノモ亦今申シタ四十分の一ノ勾配ト云フコトガ主ナル原因ニナッテ居リマス、臺灣ノ縱貫鐵道ニ付テ、滯貨問題ノ起リマシタノハ、主トシテ一昨年からラデゴザイマス、一昨年ハ茶砂糖次デ一昨年ノ暮ニ米ノ搬出ニ付テ鐵道ガ全力ヲ盡シマシタガ、中ノ捌ケ切レナカタ、北部ニ於テモ滯貨ガ確カ、十萬——十五六萬噸ノ聲ヲ聞イテ居タノデアリマス、御承知ノ通り縱貫鐵道ガ四十一年ニ出來マシテカラ、今日マデニ旅客ニ於テハ約二十七割、貨物ニ於テハ約四十割ト云フ増加ヲ來シテ居リマス、最近ニ於テ年々ノ増加割合ハ著シク多ウゴザイマス、今ニシテ此解決ノ途ヲ講ジナケレバ年々逐ウテ滯貨ノ聲ヲ聞クコト、ナルノデアリマス、現ニ此暮カラ正月ニ掛ケテ愈、此製糖期ニ入リマシテ、南部一帶ニ要スル石炭ハ鐵道ヲ以テ下ルコトガ出來マセデ、私ハ約五萬噸ト記憶シテ居リマスガ、ソレ等ハ基隆

カラ打狗マデ船デ行キマシテ、又打狗カラ北部ニ向テ逆送スルト云フ狀態ニナッテ居リマス、右ノヤウナ次第デ、此中部ノ輸送力ノ弱イ場所ハ、少クトモ何等カノ方法ヲ執ラナケレバナラヌデ、之ニ對シテハ現在ノ山線ヲ複線ニシマスルカ、或ハ今回提案ヲ致シマシタル海岸線ヲ選バカ、何レカト云フコトニナッテ居リマス、山線ノ方ハ今回ノ海岸線ニ比較致シマシテ、結局工事費ニ於テハ二百萬近ク餘計ニ掛リマスガ併シ現在ノ山線ニ二百萬圓餘計掛シテモ效果、同ジデアレバ成ベク複線ニスルト云フ方ガ、理窟モアラウト思ヒマスガ、前申シタヤウニ既ニ輸送力三分の一ノ場所ヘ、一線ヲ増シマシタ所テ別ニ一線タケノ效力ガ無イノデアリマスデ、山線ノ一線ト此海岸線ノ一線ハ經費ニ於テハ先ヅ二百萬圓、ソレカラ時ニ於テハ一時間ヲ節約シ、輸送ノ能力ニ於テハ、三倍ノ力ヲ持ツコトガ出來ルノデアリマス、而モ新竹及臺中ノ間ニ於ケル旅客貨物ノ發着ハ、縱貫鐵道全線ノ旅客貨物ノ發着ニ對シテ、先ヅ一割位ノ比率ニナッテ居リマス、ソレデ經費ヲ餘計ニ掛ケ、假ニ經費ハ同ジデアリマシテモ、目的ハ此南部ノ北部ノ間ノ貨物ノ敏活ヲ期スルノデアリマスルガ故ニ、同ジ所ヘ又線ヲ架ケマシテモ、ドウシテモ矢張同ジ勾配ヲ踏マセバナリマセヌデ、遂ニ海岸線ヲ擇ンダノデアリマス、ソレデ山線デハ御承知ノ通り大安溪ハ四十分の一ノ勾配ニシテ、此上リノ貨車ハ二十八分ヲ要スルノデアリマス、隨テ牽引力ガ弱イノミナラズ、其二十八分間ヨリモ少ナイ間ニ列車ヲ入レルト云フコトハ、上下共ニ不可能ニナリマス、色ニ比較ノ表ハアリマスルガ、大體山線ノ輸送力ハ、貨車ノ數ニシテ一日ニ二百七十二車ガ、先ヅ極度ト見テ居リマス、今度海岸線ニナリマス、千車以上入ルコトニナリマス、將來各種ノ工業ガ起リ益、此乘客貨物ガ殖エテ參リマスカラ、之ヲ救済スル爲メニハ全部百分ノ一以下デ敷設出來得ル海岸線ヲ選ブト云フコトハ、已ムヲ得ヌコト、存ジマス、殊ニ又此海岸線デモ臺中廳內デ、今回通ル場所ハ大甲、砂鹿、牛罵頭是等ノ方面ハ何レモ臺中町デハ富シタ場所デアアル、此方面ノ又旅客貨物ノ集散ト云フコトハ、現在ノ山手ノ線ニ比スルト餘程大ナルモノガゴザイマス、ソレカラ次ノデ唯今臺中ノ町ヘ經由ガ出來ヌト云フコトデアリマスガ、是ハ吾々ガ是非臺中ノ町ヘ此線ヲ入レルト云フコトニ付テ、種々調査ノ途ヲ講ジマシタガ、大體ニ於テ他ニ三ノ比較線ヲ得テアリマスガ、何レモ二哩餘リ陸道ヲ通ル、或ハ五十五分ノ一乃至八十分ノ一ノ勾配ヲ皆有シテ居リマス、ソレカラ沿線ノ貨物旅客ノ集散ハ頗ル貧弱ナル場所デアリマス、到底此所ニ提案シテアリマスル線トハ比較ニハナリ惡イノデアリマス、向ホ念ノ爲メ申添ヘテ置キマスガ、臺灣ニ於キマシテモ、道路ニ付テノ大體ノ骨ヲ

立テ行カウト云フ事ガ宿願ニナリ居リマス、ソレデ至ル所問題ニナルノハ、河川ノ問題デアリマスガ、河川ノ改修ヲ一面ニヤル、又將來此鐵道ノ鐵橋ヲ造ル時ニ、同時ニ道路ノ問題モ基礎工事ナリ、或ハ橋桁ノ設備等ノ關係ニ依ツテ利用シ得ルコト云フコトモ考慮ニ入レヤウ、是等ノ點カラ今ノ四分ノ一ノ勾配デハ、山線ニハ到底道路ノ通路ニナリテ居リマセヌ、但シハ臺中町ヘ入リマシテ二十分ノ一ノ勾配ヲ經テ、唯今ノ海岸線カラ臺中ノ方ヘ逆戻アルルヤウニナリテ居リマシテ、御承知ノ通り大肚山ノ山脈ガアル爲メニ、ドウシテモ良イ線ガ取レナイデアリマス、以上述ベマシタ事ガ、現在ノ山線ニ復線ヲ架スル代ハリニ、海岸線ヲ撰シテ採ツタデアリマス、但シ臺中ガ其爲メニ不利ヲ受クルコト云フコトハ、御話ノ通りデアリマシテ、誠ニ是ハ私共同情ニ禁ヘヌ次第デ、併シ全線ニ於ケル旅客貨物ノ集散、又將來ノ輸送ノ敏活、輸送力ノ充實ト云フ點カラ申スト、誠ニ已ムヲ得ヌデアリマス、但シ現在ノ山線ハ山線トシテ、無論活用セラル、ノミナラズ、此大肚カラ此臺中ヘ戻ル列車ノ運輸系統、又ハ列車ノ發着等ニ於テハ、十分出來ルダケ臺中ノ町ノ爲メニ便宜ヲ與ヘタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、先ツ大體ハ右申シタ通りデアリマス

○柵瀬軍之佐君 第一ニ御伺ヒ致シタイノハ、中港臺中間ハ今日ヨリ急勾配デ六十分ノ一ト云フコトニ無論ナリ居ルデアリマセヌガ、當時縱貫鐵道建設ノ當時、既ニ是等ニ對スル比較調査ヲサレタモノデアルト思ヒマスガ、其當時今御計畫ニナリヤウナリ有利ノ線ヲ捨テ、而カモ尙ホ極メテ難工事デアリ現在線ヲ通過シタト云フコトハ、ドウ云フ事カラ來テ居ルデアリマス、ソレヲ先ツ以テ御伺ヒシタイ、第二ニハ假ニ新線ガ御豫定通り完成シタ曉ニハ、現在ノ線——此線路ハ漸次撤廢サレノデアリマス、第三ニハ新線ノ御計畫ヲ見マス、中港ヲ經テ大甲、牛罵頭ト行クヤウデアリマスガ、若モ臺中市民ノ希望ヲ容レテヤルト云フ雅量ヲ持テ居ラレナラバ、大甲ヨリ分岐シテ臺中ニ行ク御計畫ガアツテモ宜イヤウニ思ヒマス、然ルニ承ル所ニ據レバ二本トモ八十分ノ一位ノ勾配ニナリテ、經費ノ上カラ拵ヘラレナイト云フ事デアリマス、若シ八十分ノ一位ノ勾配ガ願ラレナイ、基礎ニナリテ居ルト云フ事ナラバ、現在ノ線路ハ六十分ノ一ノ所八十分ノ一ノ所ハ澤山アルデアリマス、大甲ヲ分岐シテ臺中ヲ經シテ大肚ニ入ル、此間ニ於ケル調査ガ出來テ居ルデアリマス、アリマセヌカ、是モ第三ニ伺ヒタイ、尙ホ其上ニ更ニ又申上デマス

○政府委員(下村宏君) 最初ノ柵瀬君ノ御質問ハ、或ハ柵瀬君ガ能ク御承知デゴザイマセヌカ、私共鐵道部ニナセ一體今ノ線ヲ撰シタコト云フ事ニ付テ、大分質問ヲ試ミ

タ、ドウモ其時ノ當局ノ人モ居リマセヌカラ、私ガ責任ヲ以テ御答ハ出來マセヌガ、是ハ或ハ當時大甲溪ニ假ニ架ケルトナルト、水ノ出タ時ドウカト云フ事ヲ懸念シタノガ一ツデナイカ、モウ一ツハ内地ノ川内線ヲ採ツタ如ク多少國防ト云フ點ガ理由デ無イカト申傳ヘテ居リマス、眞偽ハ分リマセヌガ、假ニ若シ軍事上ノ御議論ト云フ點デアリマセバ、今日ハ餘程サウ云フ方ノ技術モ變テ來テ居リマス、又假ニサウ云フ事ガアリマシテモ、四六時中運轉スル事業ニ今申サウナラズアルモトハ、忍シテ能ク願フナリ、ソレカラ次ニ海岸線ニ入ッテ大甲カラ臺中ヲ經ルコト云フ話デアツタガ、是ハ後デ御手許ニ差上マス參考書ニ、總テノ各列車ノ間ノ勾配カラ、驛名長サ「タープ」哩數、石炭ノ經費、皆比較シタガザイマスカ、後デ御覽ヲ願ヒマス、大體ソレリ依リマシテ、今申シタ此勾配ノ關係デ停車場ヲ設ケタル場所ノ距離、ソレカラ勾配ノ關係、ソレカラ沿道ノ今ノ旅客貨物ノ集散、各種ノ點カラ見マシテ、矢張運賃時分、牽引、車輛數、石炭ノ一哩ノ費用、輸送力、色々ノ點ヲ綜合シマス、ソレカラ此時デス、經過ノ時間等皆比較シマシテ今此線ヲ新ニ撰ブコトニシマス全部百分ノ一二行クノト比較シバ劣ルノデス、ソレデ臺中ノ方サウ云フ勾配無シ、サウ云フ不便無シ行ケルカト云ツテ、多少調査シタコト云フコトデアリマスガ、昨日臺灣カラ受取ツタ報告ニ依レバ、其調査ガ誤テ居ルコトガ分リマシテ、總テ其線ノ通りト云フノデ、此線ハ拋棄シタト云フ報告ニ接シテ居リマス、尙ホ全線中ニ他ニ在ルチヤナイカト云フ御話デアリマシタガ、其中デ恐クハ六十分ノ一ト云フノガ一箇所桃園廳ノ管内ニ在リマス、是ハ本年モ鐵道ノ事故ノアツタ結果一層急ヲ認メテ豫算ニ出シテアリマシタガ、是ハ大正八年度ノ内ニハ入ッテ居リマセヌガ、是ハ必ズ來年度ハ直ス積リデアリマス、其他ニモ大體臺灣ノ縱貫鐵道ハ「レベ」行クカ、百分ノ一ノ勾配行クカ、漸次改修スル考デアリマス、是ハマダ一少部分シカゴザイマセヌ、今ノ柵瀬君ノ御話ノ處モ私等ノ方ノ比較線デ第三線デアラウト思ヒマスガ、若シ其處デアリマシタナラバ、運轉時分三十分ノ處ガドウシテ出來ル、ソレカラ隨テ列車ヲ入レル回数ガ一日十八列車ヲ超エルコトガ出來ナイ、詰リ現在ノ山ノ手線ト餘リ變リハ無イデアリマス

○柵瀬軍之佐君 モウ一ツ今度御計畫ノ新線ガ完成ノ曉ニハ中港大肚間ヲ撤廢シマス

○政府委員(下村宏君) 現在ノ中港ト大肚間ノ山ノ手線ハ撤廢致シマセヌ、致シマセヌノミナラズ是ハ非常ニ利用シナケレバナリマセヌ、吾々ノ大體ノ考ハ貨物列車ト云フモノハ、殆ド舉ゲテ海岸線ニ移ッテ行カウト思フノデス、此新竹

大肚間ヲ發着スルモノハ別デアリマスガ、サウデナイ南北陸部ノ砂糖、米ハ殆ド海岸線ニ依ッテ輸送スル、ソレカラ旅客ノ方ハ是モ見方デスガ旅客デ必ズ下リモ上リモ、臺中ニ往ッテ降リルト云フコトハ無イデアリマス、ソレカラモウ一ツ基隆ト阿線トノ雙方ノ間ノ距離ノ問題デアリマス、幾ラ時間ガ一時間早イトカ三十分早イトカ云フコトガアツタモ、或ル重立ッタ町ヘハ或ル相當ノ時間ニ其處ヲ出ルコトカ、其處ニ著クカ云フコトデナケレバ殆ド效果ガ無イ、將來急行列車ニシテモ或ハ混合列車ニシテモ、此旅客ト云フ者ハ山ノ手線ヲ主ニ使フノデアリマス、臺灣デハ一時間ヲ爭フト云フコトハ餘リ無イデアリマス、此旅客ノ方ノ問題ハ寧ろ何時頃ニ臺北ニ著クカ、何時頃基隆ヲ出ルカ、又何レヘ往クガ便利カト云フ問題デ、此間ニ半時間一時間ヲ爭フト云フ問題デハナイノデス、是ニ反シテ貨物ノ方ハ、或ル分量ヲ而モ是ハ急ヲ要シテ捌イテ行カナケレバナラヌ、私ハ大體ニ於テ海岸線デ貨物ヲ捌キシテ行キ、旅客ノ方ハ無論兩方デヤテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、現在ノモノヲ廢止スルト云フコトハ思ヒモ寄ラヌ、矢張急行列車ノ如キハ山ノ手線ガ存續サレルトコト思ヒマス

○柵瀬軍之佐君 大甲臺中間ハ臺中ヨリ總督府ノ方ヘ出テ、種々陳情シタ際ノ内容ノ話トシテ承ツタ所ニ依リマス、大甲臺中間此方面ニ對シテハ、マダ實地調査ノ測量等ノ準備ハ無カッタヤウニ承ツテ居リマス、唯、地勢上八十分ノ一位デアアラウ、然ルニ現在總督府ノ撰レタ海岸線ハ、百分ノ一デアアルカラ、八十分ノ一位比較スル必要ハ無イ、故ニ直チニ大甲、牛罵頭、大肚ニ出來ルコトニ決定シタト云フコトデ、其測量調査ノ希望マデモ申出テ居ルト云フコトデアリマスガ、果シテ左様ナ事實ガアリマスカ、若シ測量調査等ガ濟ンデナイト云フコトナラバ、念ノ爲メニモ此處ハ更ニ實地測量ヲサセルト云フコトハ、總督府デモ爲スベキ事柄デハナイカト思ヒマス、實際ノ内容ハ如何ニナリテ居リマスカ

○政府委員(下村宏君) 唯今ノ點ハ臺灣デドウ云フ内相談デアツタ話合ニナリタカ、私ハ此方ニ居ッテ一向存ジマセヌガ、云フマデモナク、臺灣總督府臺中ト云フヤウナ處ヲ故ラニ避ケルト云フ考ハ無イ、私ハドウシタラ臺中ト云フ町ヲ通ルカト云フコトヲ考ヘテ居ル位デアリマスカ、是ハ常識デ御判斷ヲ願ヒタイ、此起リハ何カト云ヘバ、三分ノ一ニ輸送力ガ減殺サレバ、此問題ヲドウシテ救済スルカト云フ點ニ在ルノデ、臺中ト云フ町ハ實ニ御同情ニ堪ヘマセヌケレドモ、免ニ角此縱貫鐵道ノ貨物ノ一割ニ當ル乗客ヲ、貨物ノ爲メニ唯、犧牲ニ供スルト云フコトハ、ドウモ輕重ニ於テ遺憾ナガラ已ムヲ得ヌデアリマス、今ノ各種ノ線ニ付テモ、假ニ私ハ初二投スル經費ニ於テ、百万ヤ二百万ヤ三百万ハ

餘計ニ使テモシナ事ハ構ハスト思フ、他ノ輸送力ト云フ上ニ於テ目的ガ達スレバ、一時限リノ初ニ投ズル資本ハ少々殖エテモ、ソレハ意ニ介セナイ積リデアリマスガ、遺憾ナガラ鐵道部ヨリノ報告デハ、別ニ三線ニ比較シテハ御手許ニ差上デマスガ、總テ此線路ノ勾配其他各般ノ調査報告ガ參テ居リマスデ、今日デハ私共ハ此鐵道部ノ報告ニ依テ現在ノ線路ヨリモ、何レノ點ニ於テモ落チテ居ル故ニ、新ニヤル爲メニハ此地勢上遺憾ナガラ矢張大肚ヘ出ル、但シ大肚ノ方カラ今ノ乘換トカドウトカ云フコトハ、海岸線ノ臺北、臺中ト云フ運轉系統モ無論出來マセウシ、又旅客列車ノ急行ナドノ如キハ、前申シテ理由デ海岸線ノ方デ多少ノ貨物ヲ捌キタイ爲メカラ申シテモ、矢張山ノ手線ヲ存續サセルト云フコトニ依テ、一部ノ御要求ハ充サレテ行カウス様ニ考ヘテ居リマス

○柵瀬軍之佐君 新線ハ中港、大肚間トナッテ居ル私ノ希望スル所ハ、即チ中部臺灣住民ノ希望スル所ハ、是ハ大體ノ計畫ニ對シテ無論異議ハアリマセヌガ、唯、大甲ヨリ分岐シテ臺中ヲ經由シテ大肚ニ行キタイ、斯ウ云フ事ガ最後ノ希望ノヤウデアリマス、然ルニ其點ニ對シテハマダ十分ノ調査ガナイト云フコト却テ居ルヤウニ承テ居リマスカラ、願クハ愈、建設ニ著手サル、マデニハ大甲、臺中間ヲ經由スルコトノ利害得失、是モ御考慮ノ上ニ於テ、然ル後御著手アランコトヲ希望致シテ置キマス——マダ他ニアリマス、是デ打切リマスガ、臺灣事業公債法中改正法律案、前回ニモ一寸申述ベタノデアリマスルガ、現行法ハ明治三十二年ニ制定サレタ、即チ兒玉總督後藤民政長官時代デアタト記憶致シマス、其當時丁度臺灣ノ統治上ノ實際ハ軍政ヨリ民政ニ移リマシテ、第一條ニ掲ゲテアル所ノ一項ヨリ六項ニ互ル此目ノ事業ヲ完成スル爲メノ事業費デアリマス、然ルニ其後各當事者ガ銳意勉勵サレマシタ結果、一條ニ掲ゲテアレアル一項ヨリ六項ノ目的ハ達セラレテ、殘デ居リマシテモ一分カ二分デアリマス、多クハモウ死骸ニ屬シテ居ル項目デアルト信ズルノデアリマス、併ナガラ臺灣ノ現在並ニ將來ヲ考ヘマスルト云フト、漸ク臺灣ノ統治ハ其緒ニ就イタト申シテ宜シイ位デアリマシテ、今後爲スベキ蕃界ノ調査、拓殖、利源ノ開發、及東海面ニ屬スル同様ノ事ガ澤山殘デ居ルト思ヒマス、併ナガラ此項目ニ掲ゲテ居ルヤウナ事柄ノミデアルカト申シマス、此項目以外ノ事柄ガ寧ろ多イノデアル鐵道ノ敷設ノ外他ノ事業ニ資本ヲ要スベキモノガ、多イコトデアラウト思ウテ居リマス、隨テ公債ノ今後ノ募集額ト云フモノモ、極メテ多額ニ上ラナケレバナラスト思ヒマスガ、幸ヒ此所ニ改正案ガ現レタノデアリマスカラ、私ハ總督府ガ臨時事業ヲ經營スル上ニ於キ

マシテモ、公債ヲ募集スル點ニ於テモ、寧ろ此場合ニ於テ目的ノ事項ヲ全然削除スル、前回ニハ大租權整理ヲ削除スルコトヲ御同意ヲ得タノデアリマスガ、是等ノ事ハ九分通り、或ハ全部目的ヲ達シテ居リマスカラ、一項ヨリ六項ヲ全部削除シテ、第一條ヲ臺灣ニ於ケル事業費支辨ノ爲メ政府ハ九千二百五十萬圓ヲ限リ公債ヲ募集スルコトヲ得ト、簡單ナル法案ヲ出スコトガ運用上頗ル便宜ト考ヘマス、然ラバ若モ斯様ニシタナラバ總督府ガ勝手ナ事業ヲ企ツルデナカト云フ憂ヲ持ツ人ガアルカ知リマセヌガ、是ハ若モ左様ナル場合ニハ——事業ヲ計畫スル場合ニハ、豫算ノ形式ヲ以テ一々年度ナリ、繼續費ナリ、其都度御提出ニナルノデアリマスカラ、其心配ガ更ニナシ、斯様ニ考ヘマスノデ、此場合ニ於キマシテ第一條ノ一項ヨリ六項マデヲ全部削除致シマシテ、唯今申シテ修正案ノ如ク致スコトガ頗ル便宜ト考ヘマスガ、之ニ對シテ御異議ガアルカナイカ伺テ置キタイ、同時ニ第二條ヲ此公債ノ利率ハ一箇年百分ノ五以下トス、是モ削除スル、第三條モ削除スル第六條モ同様、第七條モ同様ニシテ、所謂第三章ヲ以テ總テヲ纏メル、是ハ寧ろ簡明ノ法律トシテ殘ルモノデナイカト思ヒマス、此點ニ對スル政府ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(下村宏君) 唯今ノ柵瀬君ノ第一條ノ修正ノ意見ガアリマシタデスガ、私ハ至極御同感ト思ヒマスルガ、尙ホ能ク熟考致シマシテ……

○委員長(粕谷義三君) モウ少シ御辛抱ヲ願ッテ今日ハ質問ヲ終了シタイ——ソレデハ造幣局据置運轉資本增加及設備擴張費ニ關スル法律案

○政府委員(森俊六郎君) 此案ハ造幣局ノ据置運轉資本ヲ百五十萬圓増加致スコト云フコト、ソレカラ造幣局ノ設備ガ手狭ヲ感ズルヤウニ相成リマシタノデソレヲ擴張スル爲メニ百一十一萬四千九百五十二圓、之ヲ限度トシテ造幣局資金會計カラ一般會計ニ繰入レルト云フニツノ、目的ヲ含デテ居リマス、先ヅ設備擴張ニ付テ申シマスレバ、從來ノ造幣能力ハ一日七十萬枚位デアリマシテ、其中休日ヲ除キ運轉能力ハ二億二百八十萬枚日ニナッテ居リマス、一箇年ノ鑄造能力ハ二億枚トナッテ居リマス、之ヲ以テ銀貨鑄造ガ約二千萬圓、白銅貨ガ五十萬圓、青銅貨ガ五十萬圓、合計二千萬圓ノ補助貨ヲ造ルコトニ大正七年ナドノ豫定デハナッテ居リマス、所ガ今日ニ於テ舊補助貨ノ改鑄ヲ要スルモノガ多クナリマシタノ、一面ニハ時局以來補助貨ノ拂底ヲ訴ヘテ、小額紙幣ヲ九千萬圓以上出シテ居リマス、是モ補助貨ヲ鑄造シテ交換スル必要ニ迫テ居リマス、大體鑄造能力ヲ今日ノ倍ニシタイ考デアリマス、ソレガ爲メニ擴張費トシテ百一十一萬餘圓ノ要求ヲシタノデアリマス、大正

八年度カラ向フ十年マデノ三箇年繼續費デアリマス、ソレ今日マデ二億枚ノ鑄造力ヲ四億枚鑄造ノ出來ルヤウニ致シタイ、左様ニ致セバ今日ノ豫定デハ銀貨四千萬圓、白銅貨二百五十萬圓、青銅貨百五十萬圓合計一箇年四千四百萬圓ノ補助貨ヲ鑄造スル能力ヲ持ツコトナリマス、今日引揚ゲテ改鑄ヲ要スル舊銅貨、銅貨ノ流通高ヲ見ルト大正七年十一月末ノ計算デハ十六億千九百萬枚、此金高一億四千二百萬圓デアリマス、小額紙幣ノ出テ居ル高ハ、大正七年十二月末デ九千二百二十萬圓デアリマシテ、是等ノモノヲ漸時整理シナケレバナリマセヌ、彼此ソレ等ノ事情ヲ綜合シテ、今日ノ能力ヲ倍ニスルコトガ、適當ナ程度デアラウト政府ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ造幣局ノ据置資金増加ノコトヲ申上デマスレバ、今日ハ二百五十萬圓デアリマスガ、其中金銀地金ニ充當シテ居ル金額ハ九割以上デアリマス、此地金ノ中貨幣ノ鑄造ニ使フモノガ、現在金地金二百十八貫目、銀地金千六百三十五貫目トナッテ居リマス、其外ニ金銀地金ノ精製ノ要求ガアリマシテ、造幣局ニ「ストック」ヲ持ッテ居リマシテ、民間ノ要求ニ應ズル爲メニ、自分ノ「ストック」デ用意シテ置イテ、手早ク渡スコトニシテ居リマス、之ヲ押地金ト申シマスガ、金ガ百四十貫目、銀ガ二千六百四十貫目ニナッテ居リマス、所ガ近頃輸納ノ地金ガ多クナッテ參リマシテ、最初二百五十萬圓ノ据置運轉資金ノ御協賛ヲ經マシタ頃カラ比較致シマス、精製ノ爲メニ這入ル地金ノ受納高ガ、平均金ニ於テ其當時二十貫目位ノモノガ四千九百貫目ニナッテ居リマス、銀ハ其當時一萬五千四百一貫目アリマシタガ、二萬八千二百二十九貫目ニナッテ居リマス、大體地金ガ十四割ノ増加、銀ガ八割七分ノ増加デアリマス、隨テ押地金トシテ持ッテ居リマス造幣局ノ「ストック」ヲ増加スル必要ヲ生ジタノデアリマス、ソレデ現在ノ二百五十萬圓ヲ四百萬圓ニ増加ヲ願ヒタイノデアリマス、其爲メニ造幣局資金ノ中カラ百五十萬圓ノ繰入ヲ致シタイ、之ハ一面ニ於テ豫算ヲ要求ヲ致シテ居ル次第デアリマスカラ、豫算ノ御審議ト相待ッテ御協賛ヲ得タイト考ヘマス

○柵瀬軍之佐君 能ク分リマシタガ、大阪ト東京ト兩方面ヲ擴張サレルノデスカ

○政府委員(森俊六郎君) 今日ハ全部大阪ノ設備デアリマス

○柵瀬軍之佐君 補助貨ノ拂底ハ全國ニ其急ヲ訴ヘテ居リマスガ、其結果此提案ヲ見ルニ至ッタト思ヒマス、私ノ記憶スル所ニ依レバ、政府ハ硬貨ノ不足ノ爲メニ、斯様ニ不足ヲ感ジテ居ルニ拘ラズ、現ニ時局發生後露西亞暹羅ノ補助貨ノ鑄造ヲ引受ケマシタコトガ、アタヤウデアリマス、

果シテ左様ナ事ガアリマスカ

○政府委員(森俊六郎君) 暹羅ノ分ハ引受ケテ居リマセヌ、露西亞ハ補助貨拂底問題ノ起ラナイ前ニ相當ニ鑄造シタノデアリマス

○柵瀬軍之佐君 暹羅ニハマダ無イノデアリマス、私ハ有ルヤウニ承ハリマス、今後マダ交渉ニナルカモ知レマセヌ、左様ナ場合ニハ外國ノ注文ニ係ル鑄造杯ハ受ケラル、ヤ否ヤ承リタイ

○政府委員(森俊六郎君) 外國ノ注文杯ヲ受ケマスルノハ、鑄造力ニ餘裕ノアル場合デゴザイマス、殊ニ暹羅ノ如キハ度々交渉ガアッテ、度々製造能力ノ無イ故ヲ以テ斷ハッテ居リマス

○津末良介君 今ノ御説明ニ依レバ、兩案共補助貨幣ヲ鑄造スルコトノ擴張ニ必要ナル資金ト云フヤウニ承リマス、補助貨幣以外ノ貨幣ノ鑄造ニ付テハ、現在ノ狀態デ一向差支ヲ生ジナイノデアリマス

○政府委員(森俊六郎君) 金貨ニ付テモ先刻申シマス通り據置運轉資本ノ中貨幣ノ鑄造用ニ使シテ居ルモノガ相當ノ高ニ上ッテ居リマス、提案ハ主トシテ地金ノ方デ、金貨ニ付テハ今日ノ設備デ不便ヲ感ジテ居リマセヌ

○委員(粕谷義三君) モウ御質問ハ宜シウゴザイマス、ソレデハ次ハ大正五年法律第四號中改正法律案、此御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(河田烈君) 大正五年法律第四號中改正法律案ニ付テ、簡單ニ御説明申上デマス、大正五年法律第四號ハ今回ノ臨時事件ニ關スル經費ノ支辨ニ關スル法律デアリマシテ、大正三年臨時事件費支辨ノ爲メニ、財源ヲ公債借入金ニ依ル上ニ於テノ制限額ノ改正デアリマス、現行法デハ制限額八千八百萬圓以內トナルテ居リマス、ソレヲ改メテ三億二千萬圓以內ト改メタイト云フ改正案デアリマス、此法律ノ制限額ハ豫算ニ伴ッテ、從來モ改正シテ參リマシタノデ、大正七年度ノ豫算ニ計上シテアル既定額ハ八千八百萬圓ニナッテ居リマス、然ル所今回提出致シマシタ臨時軍事費財源トシテ、第一號ニ於キマシテ約一億五千六百餘萬圓ト云フモノガ、公債借入金ニ依ル計算デ、第二號ニ於テ五千萬圓、公債ニ依ル計算ニナッテ居リマス、續イテ大正八年ノ臨時事件豫備費一億七千二百萬圓、三億二千萬圓借入金ニ依ル計算ニナッテ居リマス、是等ノ額ヲ合計シテ、既ニ既定額ノ八千八百萬圓ニ達シテ居リマス、丁度唯今申上デマシタ三種ヲ合セタル額ガ不足ニナリマス、即チ既定額ノ八千八百萬圓ノ上ニ、約三億一千六百餘萬圓デアリマス、此三億一千六百餘萬圓ヲ合セテ見テ、三億二千萬圓以內ニ改メタイト云フ法律デアリマス、

是モ既ニ提出シタル豫算ニ伴フ改正案デアリマス、ドウカ御審議ノ上御協賛アランコトヲ望ミマス

○柵瀬軍之佐君 是ハ簡單ノヤウデアリマシテ、大分財政上ニ重大ナル關係ヲ持ッテ居ル案デアリマス、第一ニ私ハマダ十分調査材料ヲ持チマセヌカラ、判然申セマセヌ、臨時利得稅ノ關係ハ、今後矢張戰時利得稅ヲ徵收シ得ナイモノトシテ、無論御計畫ニナッタノデアリマス、其關係ヲ承ハリタイノデアリマス

○政府委員(河田烈君) 柵瀬君ノ御尋デアリマス、唯今申シマス通り、此三億二千萬圓以內ノ中、今回新ニ加ヘルコトヲ要シマス、金額ノ中デ、二千二百萬圓ト云フモノガ、臨時事件豫備費ノ財源ニ充當サルベキ額ニナッテ居リマス、是ハ臨時事件豫備費ハ御承知ノ通り、一億七千二百萬圓、其中臨時事件ニ伴フ藏入ガ計上サレテ居リマス、是ハ大正八年度ノ總豫算追加第一號ニ掲ゲデアリマス、其臨時事件費ニ伴フ收入ト云フモノハ、一億千三百餘萬圓デアリマス、其中ニ戰時利得稅ガ含マレテ居リマス、其戰時利得稅ハ俗ニ所謂臨時事件費所屬收入ト申シマセウカ、九千二百餘萬圓ガ利得稅デ、其他山東鐵道收入等ヲ合セマシテ、一億一千三百餘萬圓ニナッテ居リマス、然ルニ臨時事件豫備費ハ一億七千二百萬圓デアリマス、其差額ヲ補填スル爲メニ、前年度繰入金千四百餘萬圓ヲ充當スルコトニ致シマシタ、尙ホ不足額二千二百萬圓ヲ借入金ニ依ル計算ニナッテ居リマス、即チ戰時利得稅ヲ徵收シテ、尙ホ不足スル額ヲ補填スル計算ニナッテ居リマス

○柵瀬軍之佐君 戰時利得稅ハ幾ラニナリマス

○政府委員(河田烈君) 九千二百六十二萬五千三百四十九圓——七年度ノ實收見込額約八千三百餘萬圓ノ見込デアリマス、其中一千八百萬圓ハ、是ハ御協賛ヲ經テ居リマス、豫算デ、差額ノ六千五百餘萬圓ハ増收見込額デアリマス、是ハ追加豫算第二號ヲ以テ、數日前御協賛ヲ經テ、追加豫算ノ財源ニ出シデアリマス

○柵瀬軍之佐君 私ダケハ斯様ニ願ッテ置キタイ、今日ハ大體ニ於テ質問ヲ打切リシテモ、委託サレタ多數ノ案ニ對スル決定會ノ場合ニハ、其前ニ尙ホ唯今御説明ニナッタ案ニ付テ、若干質問ノ出來ルヤウナコトニ御承諾ヲ願ッテ置キタイ

○委員(粕谷義三君) 他ニ御質問ハアリマセヌ、ソレデハ唯今柵瀬君ノ御希望ノ通り、次回ハ何レ黨議決定後ニスルヤウニシマシテ、其前ニ尙ホ質問ノ殘リマシタ分ヲ御繼續ヲ願フコトニ致シマス、是デ散會致シマス

午後四時二十一分散會

大正八年二月十二日印刷

大正八年二月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局